



達成感と使命感

2021年8月入隊

うめはら さとる  
梅原 悟さん

年齢 34歳  
出身 東京  
前職 施工管理  
家族 単身  
趣味 ロードバイク・キャンプ

interview\_03



皆さんをもっと知りたい  
私をしつてもらいたい

2022年4月入隊

ふかさわ てつや  
深澤 哲矢さん

年齢 38歳  
出身 福島市  
前職 舞台などの企画  
家族 妻・子1人  
趣味 カメラ

interview\_02

**日々の活動内容**  
私は今、渡邊慎一朗さん（上成田）の桃畑で研修しています。研修圃場で桃の栽培を教わりながら、野菜の研究もしています。新しい作り方を自分で試してみたり、JAの野菜栽培講習会にも参加したりしています。インスタグラムも始めて、町のことや桃のPRをしています。  
**町の農業に触れて**  
肉体的に大変ですが、のびのびと過ごせています。4月から畑を任せられたので、責任感と使命感を感じています。近所の人とよく話をし、アドバイスももらうなど、とても親切に接していただき助かっています。

**応募したきっかけ**  
東京で施工管理の仕事しながら、趣味のロードバイクで、地方に足を運んでいるうちに、実際に暮らしてみたいと思うようになり、自分で何かを生み出すことが好きで、自然の中で働く農業に魅力を感じ、町在の知人を通じて、協力隊制度を紹介され、縁を感じて移住することに決めました。

受入農家の声



渡邊慎一朗さん

後継者不足の中、東京からきてくれたことに感謝しています。3年間という任期が終わっても、ずっと協力をしていきたいと思っています。まずは独り立ちを目指して頑張ってください。



Instagram

**今後の目標**  
桃農家になるために技術を磨きながら、野菜や米なども研修しています。協力隊として町に移住したからには、農業で独り立ちすることも大切ですが、日々地域おこしにつながる活動を心がけています。今年は田んぼアートを企画したり、サイクリング部を創設したりなど、他の協力隊とも連携しながら活動をしていきたいです。



**応募したきっかけ**  
大学在学中から東京を中心に演劇やイベントの仕事に就き、海外や日本各地を巡る中で、都市にはない地方の魅力を感じることが多くなりました。またコロナ禍中、妻と一緒に区民農園を借りて野菜や果実を育て、収穫する喜びや隣の区画の先輩たちから栽培方法を教えていただいたりする時間がとても充実していました。そんな中、福島の実家の父から地域おこし協力隊の話聞いて、家族で桑折町へ移住することに決めました。

**日々の活動内容**  
私は今、後藤哲男さん（北沢）のもとで農業修行をしています。毎日楽しく桃畑で実践を重ねています。  
桑折町の皆さんをもっと知りたい、そして、私を知ってもらいたいと思います。「もものラジオオ」という音声配信を始めました。誰でもスマホやパソコンから無料で聴けるサービスを使い、桃農家さんのリアルな声を配信しています。「献上桃の郷」の農家さん一人一人の熱い思いと、農業の面白さを多くの人に届けたいです。  
ラジオの最後には、桑折町の未来についてお話ししていただいています。3月に発生した地震で、私もこのまま協力隊を続けていけるのか不安でした。被災された家の瓦や家財を片付けるお手伝いをさせてもらう中で、自分にできる事は何かを考え、少しでも前を向いてもらえるように、未来の話をすることにしました。これからは農業とラジオを通して、みんなの未来を発信します。

町の新規就農者支援

- ・就農者支援事業補助…年額50万円
- ・農業後継者奨励金…30万円
- ・優良農地のあっせん
- ・中古農機具の仲介 など

問い合わせ 産業振興課 ☎582-2126

高齢で農業を続けられない人が多い中、就農を目指す人が増えて、本当にうれしいです。町、農協、農家の皆さん全員で応援していきます。農家としての基盤ができたなら、前職の知識を活かして、町の農業に新しい風を吹かせてほしいです。

協力団体の声



JA桑折営農センター  
営農指導係  
菅野亮一さん

受入農家の声



後藤哲男さん

後継者不足の中、農業をやりたいと町に来てくれたのは、息子が一人増えてくれるうれしいです。献上桃を受け継いでいくのも自分の役目だと思っているので、しっかり育てていきたいです。



もものラジオ



Instagram

**今後の目標**  
まずは、農業の技術をしっかりと身に付けて、「献上桃の郷」に恥じない良い桃を作ることです。将来は、自分の農園で育てた桃を、東京やアジア地域にも販売したいと考えています。ラジオやSNSなどを活用して、桑折町の魅力を世界に発信していきたいです。